

特別委員会

総合開発特別委員会

長崎県 I R 構想を視察調査！

竹田 秀泰 委員長

委員会の視察調査で、苫小牧市が考える I R 構想との比較検証を目的に長崎県における I R 構想の動向についてと、新千歳空港の民間委託を目前に控えていることを受け、既に民間委託を実施している大阪国際（伊丹）空港の現状について報告しました。さらに、苫小牧東部開発の推進や港湾機能の強化などについて、関係する中央省庁へ要望活動をおこなったことを報告しました。

所管事項では、米軍機訓練移転計画概要、日豪共同訓練の実施結果、航空機部品落下事案、苫小牧港東港区ガントリークレーン事故の報告、北極海航路を利用したコンテナ貨物輸送の実施などの説明を受けた後、各委員より活発な質疑がありました。



長崎県 I R 構想視察風景

安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会

PFI^{※1}の手法を担う事業者選定へ！

松尾 省勝 委員長

所管事項は2件であり、災害時応援協定に基づき、台風19号の被害を受けた岩手県宮古市から、給水支援を要請する申し出があり、上下水道部職員を中心に職員を派遣された報告がありました。

（仮称）市民ホールの整備手法と進め方について市は、初めてPFIの手法を取り入れ、運営を担う事業者を令和4年度に決定する方針を明らかにしました。

複数の委員から「地元企業」の参画や活用についての幅広い意見や質疑があり、市側は、事業者選定での審査基準で加点評価の対象に盛り込むことや工夫を重ね、出来る限り、人材や資材確保についても、配慮して進めるとの考えを示しました。



委員会風景

議会アンケート

苫小牧市議会では、開かれた議会を目指すための取り組みとして、9月定例会の傍聴にお越しいただいた方へアンケートを実施いたしました。

アンケートの中で、「議員同士の話し声」や「議員の議場入場時間を早くできないか」などのご意見をいただきました。これらについては、改善に向けて、全議員へ周知を図ってまいります。

全員協議会を開催し、議員定数を議論！

11月27日及び12月13日に「議員定数」を案件とした全員協議会を開催しました。

現在の議員定数28名に対して、各議員からは現状維持や定数削減、さらに定数増加などのさまざまな意見が述べられるとともに、これまで実施してきた定数削減に伴う検証の必要性や、補欠選挙が執行されるまで2名欠員の26名で議会運営していた実情、さらに委員会

すべてのアンケート結果は苫小牧市議会ホームページでご覧いただけます。



議会・議員に期待することは何ですか（複数回答可）

1 市政へのチェック	74 件
2 積極的な政策提案	73 件
3 議員の政治姿勢（政治倫理の遵守など）	60 件
4 市民の声の反映	94 件
5 市議会だよりの充実	15 件
6 ホームページ等を活用した情報発信	7 件
7 その他	5 件
・政策を実行するように	
・中継（ネット）を過去分も見られるようにしてほしい など	
8 無回答	20 件

数のあり方や投票率低下の課題などについて、多岐にわたる意見が出され、議員間での討議がおこなわれました。

議員定数については、新人候補予定者にも配慮し、20年12月までには結論を出すことが決定していることから、今後も活発な議員間討議によって議論を深めてまいります。



全員協議会風景